

法人名 (公財)山梨県子牛育成協会

公益法人用

【法人の概要】

代表者名	山里 直志	所管部(局)課	農政部畜産課
所在地	山梨県北杜市小淵沢町大平10061	電話番号	0551-36-3200
ホームページURL	http://www.yatuboku.jp	E-mailアドレス	yatuboku@io.ocn.ne.jp
資本金(基本財産)	10,000 千円	設立年月日	昭和52年3月23日
主なる出資者	出資順位	出資者名	出資額
	1	山梨県	10,000 千円
	2		千円
	3		千円
	4		千円
	5		千円
その他	団体(者)	千円	0.0 %
設立経緯概況等	設立目的: 山梨県の子牛の生産、育成を振興し、もって畜産の安定発展に寄与すること。 経緯概況等: 県営八ヶ岳牧場は、条例に基づき県の肉用牛生産基地として、肉用牛繁殖育成事業を行ってきた。 昭和52年:(財)山梨県子牛育成協会が設立され、協会は県から牧場管理業務の一部を委託された。 昭和60年:県営八ヶ岳牧場から、県立八ヶ岳牧場と改称し、協会は県から牧場の管理業務を全面委任された。 平成5年:県立まきば公園と天女山分場整備に伴い、協会は県からまきば公園の管理業務を委託された。 平成12年:堆肥処理施設の稼働により、堆肥の販売を開始。 平成13年:周年預託業務を開始。 平成18年:県立八ヶ岳牧場、県立まきば公園の指定管理者となっている。 平成23年:公益財団法人に認定された。		

【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H22年度	H23年度	H24年度
事業1	県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却。 農家有家畜(牛・馬)の周年受託業務。 草地等の維持管理業務。農家の巡回調査指導業務。 肉用牛の改良増殖業務。 家畜排泄物処理業務等	221,763	210,526	220,665
事業2	めん羊(サフォーク種)の増殖業務及びふれあい動物の飼養管理。 公園施設、草地、植栽の維持管理。 来園者の対応、各種イベントの開催。	15,284	17,690	17,785

【組織】

年度	平成23年度					平成24年度					平成25年度				
	職プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他
4月1日現在の人員															
役員	理事(常勤)	1			1	1			1	1			1		
	理事(非常勤)	8		2	6	8		2	6	8		2	6		
	監事(常勤)	0				0				0					
	監事(非常勤)	2			2	2			2	2			2		
	評議員	5			5	5			5	5			5		
計	16	0	2	1	13	16	0	2	1	13	16	0	2	1	13
職員	管理職	2	2			2	2			2	2				
	一般職員	19	19			19	19			19	19				
	臨時職員	2			2	2			2	2			2		
	非常勤職員	0				0				0					
計	23	21	0	0	2	23	21	0	0	2	23	21	0	0	2
プロパー職員の年齢構成(H26.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計					平均年齢	平均年収	
	男性		2	4	5	8		19	役員勤	※	(千円)	※			
	女性		1		1			2							
	合計	0	3	4	6	8	0	21	職員勤	44	(千円)	5,026			

※常勤役員は、1名のみのため個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		22年度	23年度	24年度	増減(24-23)
正味財産の状況	基本財産運用益	150	150	150	0
	受取会費・受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	210,579	208,975	208,938	△ 36
	自主事業収益	41,167	42,114	41,878	△ 235
	受取補助金等	0	0	0	0
	その他の収益	5,314	2,439	2,440	1
	経常収入 計	257,210	253,678	253,407	△ 271
	事業費	237,047	242,309	242,410	100
	うち人件費	138,121	142,689	136,822	△ 5,867
	管理費	17,636	6,518	18,555	12,037
	うち人件費	15,445	5,642	15,394	9,752
	経常支出 計	254,684	248,827	260,965	
	当期経常増減額	2,526	4,850	△ 7,558	△ 12,408
	経常外収入	0	0	0	0
	経常外支出	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	2,526	4,850	△ 7,558	△ 12,408
当期指定正味財産増減額	0	0	0		
正味財産期末残高	47,346	52,196	44,638	△ 7,558	

(単位:千円)

項 目		22年度	23年度	24年度	増減(24-23)
財務状況	流動資産	28,063	40,534	35,605	△ 4,929
	固定資産	96,825	103,583	103,112	△ 471
	資産 計	124,888	144,117	138,717	△ 5,400
	流動負債	13,714	21,334	15,549	△ 5,786
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	63,828	70,587	78,531	7,944
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	77,542	91,921	94,079	2,158
	正味財産	47,346	52,196	44,638	△ 7,558
	うち基本財産への充当額	10,000	10,000	10,000	
うち特定資産への充当額	6,617	8,272	9,533		

(単位:千円)

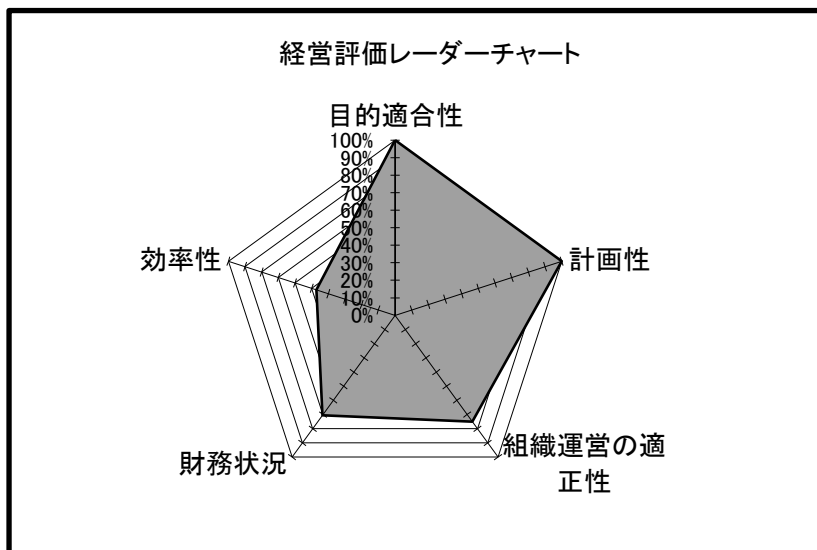
項 目		22年度	23年度	24年度	増減(24-23)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	0	0	0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	136,876	136,824	136,361	△ 462
	人件費以外の委託金	73,703	72,151	72,577	426
	委託金 計	210,579	208,975	208,938	△ 37
	県支出金 計	210,579	208,975	208,938	△ 37
	県の財政的関与の割合(%)	81.9	82.4	82.5	0
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	該当なし
補助金 (運営費)	該当なし
補助金 (事業費)	該当なし
委託金	指定管理者制度に基づき、管理委託料が支払われている。
債務負担行為	「県立ハケ岳牧場」および「県立まきば公園」の管理は5年間の債務負担行為に基づき、管理委託料として執行している。

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	20	100.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	12	75.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	31	70.5%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	9	36	17	47.2%
合計		34	136	100	73.5%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	農家家畜の受託と肉用牛の改良および生産・売却を行い、畜産農家の経営安定に寄与するとともに、本県の畜産振興を図るため、指定管理者として基本協定に基づく業務を適正に行い、事業目的を達成している。
計画性	毎年度、事業計画を設定し、より効率的な管理運営と経営の安定を図っている。 また、計画と実績の比較分析を行い、業務・経営の改善に努めている。
組織運営の適正性	指定管理者として管理運営するに伴い、組織、職員数等を見直しており運営は適正に行っている。 また、平成23年からは公益財団法人として認定され、内部監理体制を適切に行い、透明性の高い健全な運営に努めている。
財務状況	主要な財源を管理委託料と独自の収入源である利用料収入で充当して運営している。公益会計には収支相償が求められており、前年度と2年間で収支相償を図る計画で管理運営を行った。当期は利用料収入は目標額を確保しているが、賞与引当金繰入額の発生等により経常損益は赤字であった。
効率性	従前より管理運営の効率化を図ってきたところであるが、経常損益の赤字や法人会計の人員費を管理費に計上したこと等により、得点率が低下している。今後も経費削減や更なる利用者数の確保に努め、効率的運営を進めていく。
総合的評価	実施事業は全て公益事業に認定され、設立目的は適切に達成しており事業の公益性は高い。 冬期受託の受入増頭により利用者のニーズに応えているが、経営的には車両・機械等の修繕経費や、購入飼料等の飼養経費が増加しており、自給飼料を安定的に確保するために、引き続き獣害防止等の対策を実施しているところである。



対応策	ハケ岳牧場業務については、衛生対策の充実と受精卵移植等の繁殖に関するサービスを充実し、優良肉用牛の安定供給と受託頭数の拡大を図ると共に、運営経費の有効活用にも努める。 まきは公園業務については、園内美化に努め、新規イベントの企画や内容を充実し利用者数の拡大を図る。 牧場と公園の連携による効率的な運営と利用者サービスの向上を図り、ホームページ等により情報を積極的に公開する。 公益財団法人移行後の諸問題に対処し、適正な法人運営とより一層の合理的経営を進めていく。
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	本県における大家畜の畜産振興を推進するため、県条例並びに当協会設置目的に従い、適切に受託事業等を実施しており、目的に十分に適合している。
計画性	年次計画に基づいて効率的な管理運営を行っており、また事業分析により業務経営改善に努めており、今後も適切な管理運営が見込まれる。
組織運営の適正性	組織運営は必要最低限の役職員により的確かつ効率的に実施されており、人事・財務等の内部監理体制も適切に運用されていることから、組織運営は適正である。
財務状況	賞与引当金繰入額の計上により経常損益が赤字となったことで収益性や収支バランスは前年度より下がったものの、流動比率から当面の資金繰りに問題はなく、借入金や受託事業の再委託がない点については毎年高い評点を獲得しており評価できる。
効率性	経常損益の赤字や法人会計の人件費を管理費に計上したこと等で職員1人当たり管理費や経常利益などの評点は前年度よりも減少したが、施設等利用率は前年度に引き続き高く、職員1人当たり施設等利用率は前年度より改善されており評価できる。
総合的評価	協会の存在意義、組織体制、財務状況、職員の技術能力・意識水準から総合的に判断し、高く評価できる。今後も、より一層の合理的な経営等に努めていく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">財務状況</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">A (75%~)</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">B (60%~75%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">C (50%~60%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">D (~50%)</div> </div>
※ ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立八ヶ岳牧場等の指定管理者となっており、利用者サービスの向上や経費削減などの経営努力を行っている。平成24年度は、賞与引当金繰入額を計上したこと等により経常損益の赤字が生じたため、前年度のA評価からB評価の判定となった。 ・ 今後も、公益法人として収支のバランスを取りながら、サービスの向上や施設利用実績の改善につながる取り組みを引き続き行っていく必要がある。



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県畜産の安定的発展に寄与するという公益性の高い設立目的に沿って、公益財団法人として健全な管理運営に努めていく。 ・ 公益目的事業に係わる収入が費用を上回ることは望ましくない。しかし事業は年度により収支に変動があり、仮に収入が費用を上回った場合は将来の公益目的活動のための特定費用準備資金等として積み立てていく。 ・ 八ヶ岳牧場の管理運営については、県有牛の改良増殖と優良な肉用素牛の販売並びに預託牛への繁殖サービスを充実し、受益者の拡大や利益の増進に取り組んでいく。 ・ まきば公園管理業務については、顧客満足度の高い公園を目指し園内美化に努め新たなイベントの企画や内容の見直しに取り組んでいく。
--